



昭和大学  
SHOWA University

—昭和大学歯科病院の理念—

患者本位の医療  
先進的医療の推進  
良き医療人の育成

発行責任者 病院長 馬場 一美  
編集責任者 広報委員長 長谷川 篤司  
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1

TEL 03-3787-1151(代表)  
いいちごいち

ホームページ: <https://www.showa-u.ac.jp/SUHD/index.html>

## 七夕祭りに想う

歯科放射線科 診療科長・教授 荒木 和之

8月7日を中心に仙台をはじめ各地で七夕祭りが催されます。太陽暦（新暦）の七夕は7月7日ですが、この時期は梅雨の只中で曇りや雨のことが多く、星は中々見えません。これは太陰太陽暦（旧暦）7月7日を新暦にそのまま移したためで、月遅れの七夕（8月7日）や旧暦の七夕に七夕祭りが行われる所が多くあります。今年の旧暦7月7日は8月4日になります。梅雨は明け、晴天率も高く、20時頃に南の宙高くを見上げると織姫と彦星が輝いているのを見ることができます。

七夕の由来は、天の川の兩岸に離れ離れとなった織姫星（こと座のベガ）と彦星（わし座のアルタイル）が、年に1度だけ会うことが許されている日というのが一般的です。古代の人は肉眼で星空を観察し、さまざまな物語を紡いできました。そのうちに、もっと星を詳しく見たいというヒトの探究心が望遠鏡の発明を促し、今では可視光以外の電磁波（光もX線も電波も電磁波の仲間です）を用いる電波望遠鏡やX線望遠鏡

が発明され、遠い宇宙や星空の仕組みの研究が続けられています。例えば、彗星は恒星が潰れる速度にかなり近い速さで自転しており、かなり潰れた形をしていることもわかってきました。

ヒトの身体や病気についても肉眼での観察や触診から始まり、今ではさまざまな検査機器が発達し診断・治療に役立っています。歯科領域でも、はじめは歯のX線写真を撮るところから最近では歯科用コーンビームCTやMRIなどの機器を利用するようになっていきます。歯科病院でも歯科用コーンビームCTを活用して、歯やその周囲の顎骨を詳しく検査し、患者さんがより適切な治療を選択できるように日々努力しています。

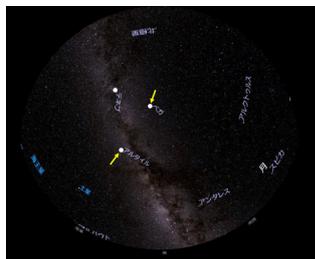


図1 Mitaka (©国立天文台4次元デジタル宇宙プロジェクト)で作成した2022年8月4日の星空。南天高くに織姫星（ベガ）と彦星（アルタイル）それにデネブ（はくちょう座）が観察されます。



- P1 巻頭言 七夕祭りに想う
- P2 診療科紹介 歯科放射線科
- P3 部署紹介 新入職員ご挨拶
- P4 公開講座開催のお知らせ、患者さんからのご意見  
編集後記

記事見出しの色分けをいたしました。

患者さん向け、医療機関向け、お知らせなど

## 診療科紹介：歯科放射線科

歯科放射線科 診療科長補佐・准教授 関 健次

歯科放射線科は、歯科病院創設以来、歯科病院内のX線を用いた画像検査のほとんどを引き受けております。歯や顎骨内に発生した疾患は、通常、表面からは観察することはできません。この見えないところを写し出すのがX線検査で、治療の方向性を決める上で重要な役割を担っています。そのため、われわれはX線写真の質にこだわり、診療に役立つX線写真の提供を心がけております。

また、X線検査は必ず被曝を伴うため、被曝対策などを常に行っております。検査の際、できる限り撮影時の苦痛を少なくするように配慮しておりますが、一部の撮影ではセンサーなどの器具を口の中に入れるという特性上、多少不快な思いをされるかもしれません。治療に役立つ質の高い画像を得るために、若干我慢していただくことをお願いいたします。

通常の撮影業務は、主に齋藤徹技術主査のほか計4名の診療放射線技師が担当しております。歯科医師は主に画像診断、画像管理、CT検査における造影剤の投与や超音波検査などの業務を行っております。また、昭和大学

学病院放射線科との関係を深めながら、歯科病院にはないMRI検査などの画像検査にも関わっております。

当科は病診連携も積極的に行っており、歯科画像センターとして検査依頼も積極的に受けております。特にインプラントの画像検査は20年以上にわたり日本のパイオニアとして年間400例以上の検査を行っております。

図1～3に当科で使用しているCT装置を示します。

当科の歯科医師は荒木和之診療科長のほか常勤歯科医4名と非常勤歯科医数名のスタッフで診療、研究、教育を行っております。また診療放射線技師とともに、撮影技術や診断技術の向上、新しい診断装置の開発や装置の管理方法の開発などに努めているところで

す。われわれ歯科放射線科医は担当医として患者さんに接することはありませんが、何かご不明なことがございましたら、お気軽にスタッフまで声をかけていただきたいと思います。



図1 歯科用コーンビームCT装置1：歯および周囲の構造を立体的に把握します。座った状態で撮影し、装置が顔の周りを360°回転します。この装置は主に小さい範囲に使用しています。



図2 歯科用コーンビームCT装置2：顎骨の構造を立体的に把握します。座った状態で撮影し、装置が顔の周りを360°回転します。この装置は主に矯正治療やインプラント目的に使用しています。



図3 CT装置：顎骨病変やインプラントの術前検査に使用しています。寝台上に寝た状態で撮影します。病気によっては造影剤を使用します。



歯科放射線科スタッフ

## 新入職員ご挨拶

2022年4月に歯内治療科に入職いたしました大西孝政と申します。

歯内治療は、歯の神経や根の先に起こる炎症等への治療を行うことで患者さんの痛みに直接向き合うことができます。また、その精度は歯の予後に大きく関わってきます。

当科の魅力は、マイクロスコープという歯科用実体顕微鏡が全ての歯科用ユニットに設置されていることだと思います。これにより歯という非常に複雑な構造を持つ組織を見る際に、肉眼で観察が困難な箇所まで精査した上で治療を行えるようになります。

現在は、さまざまな症例に対して経験豊富な上級医の先生方と共に診療に携わらせていただくことで、毎日非常に多くの学びや刺激を得ております。このような恵まれた環境で働けることに感謝し、ここで得られる経験を歯科医師人生の糧にしたいと思っております。

日頃から支えてくださる周りの方々への御恩を忘れず、日々精進していく所存でございますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

歯内治療科 助教（歯科） 大西 孝政

今年度より顎関節症治療科に助教（歯科）として入職しました、宮本佑香と申します。

当科では主に「あごが痛い」「口が開かない」「口を開けると音がする」など、顎関節症の症状がある方の治療を行っています。

顎関節症は歯ぎしりや食いしばり、ストレスなどの複数の要因が積み重なることで生じます。一生の間で2人に1人は経験すると言われるほど身近な病気ですが、症状によっては日常生活に大きく影響してしまいます。

あごの痛みや口が開かないといった症状がある場合には、まず筋肉のマッサージやストレッチを患者さんにセルフケアとして行っていただいたり、さらに必要であれば就寝時に装着するマウスピースによる治療を行うこともあります。

美味しく食事をとり、楽しく会話ができる。そんな患者さんのより良い生活に貢献していけるよう、これから日々精進して参りたいと存じます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

顎関節症治療科 助教（歯科） 宮本 佑香

今年度から口腔機能リハビリテーション科に入局いたしました中西あゆみと申します。私は昭和大学歯学部を卒業後、昨年度当科にて臨床研修を半年間行い、現在に至ります。

当科では主に、食べる、飲み込む、話すといった口や喉の機能が低下してしまった患者さんのリハビリテーションや、頭頸部癌治療後の患者さんの口腔内の機能的ケアや手術後の顎義歯の作成、および治療後の話すことや飲み込みに対しての機能低下に対するリハビリテーションを行っています。日常生活の中でとても重要な食べる事、話す事のお手伝いをする事にとってもやりがいを感じて日々診療を行っています。

これからも患者さんに寄り添うことを忘れずに、多くの知識や経験を得て、それを少しでも患者さんに還元していきたいと思っておりますので、未熟者ではございますがどうぞよろしくお願いいたします。

口腔機能リハビリテーション科  
助教（歯科） 中西 あゆみ

## 公開講座開催のお知らせ

患者サービス向上委員会

2022年10月15日（土）に、当院にて第25回昭和大学公開講座を開催いたします。無料ですので、どなたでもご参加ください。

※新型コロナウイルス感染症の状況により、開催方法の変更・中止となる可能性もございます。あらかじめご了承ください。

**日時：2022年10月15日（土） 13:00～15:00**

**場所：昭和大学歯科病院 6階 臨床講堂**

担当講師

- 【体の病気と歯科治療】      マイヤース 三恵（医科歯科連携診療歯科・准教授）  
【専門医が診る入れ歯外来】      岩佐 文則（補綴歯科・准教授）  
【お口の健康を育む方法】      永里 咲恵（歯科衛生士）

※申し込み方法などの詳細に関しては、後日当院ホームページ・病院だよりなどでお知らせいたします。

## 患者さんからのご意見・ご要望

患者サービス向上委員会

ご意見・ご要望	回答・改善等
老齢のため体力が衰えている私に対し、看護師の皆様大変親切にお世話をしてくださり感謝しております。本日無事退院することになります。この病院のことを忘れることはないでしょう。願わくば再発しないようにと思います。	この度は、温かいお言葉大変うれしく思います。こちらこそ、コロナ禍により入院生活の制限がある中、ご不自由もあったかと思いますが、このようなお言葉を頂戴し何よりの励みになります。これからも、患者様にご満足いただけるよう、努力してまいります。ありがとうございました。 (病棟看護師)

## 編集後記

先日、早朝に放映されている俳句の添削番組を観る機会がありました。自分も学生時代に俳句を作り、絵を添えて短冊に書いたことを懐かしく思い出しました。

まだまだ気を付けて生活しなくてははいけません、図工とか、昔やったことに再チャレンジしてみるのも楽しい時間が過ごせて良いかもしれません。

(Y.M)

